

「中学生“自分再発見”プロジェクト」を中心にして

事務局（横須賀商工会議所内）

■めざすこと（趣旨）

フリーターやニートなど、若年者の無就業が社会問題となっております。今後はさらに、少子化や人口減少により労働生産力の低下が危惧される中で、若年者の他地域への流出は、地域エネルギーの減退に拍車をかけることとなります。

長期的な視野に立ち、横須賀を担う人材は、地域で育て、地域で活躍できる土壌を築く必要があります。そのためには、地域産業界が積極的に、こども達の教育に関わり、夢を与え、地域への愛着心を醸成させることが重要なこととなります。

将来を見据え、横須賀市・横須賀市教育委員会と共に手を携え、地域産業人を育て、その受け皿を作り、10年後、20年後に横須賀を活性化してくれる人材に成長してくれることを期待し、ここに「産業界発！“自分再発見”プロジェクト」をスタートいたしました。

平成20年4月16日発

■具体的な視点と努力

産業界（横須賀商工会議所）が中心となり、行政・教育界と連携したプロジェクトを核とする。そのうえで中学2年生の「総合的な学習の時間」を体系的にプログラムし、こども達の職業観・勤労観を刺激、啓発する。「生きること」「生きる力」をつける学習への意欲・関心事につなげる。そのための教育現場への支援を実践する。

- ・「マイタウンティチャー（MTT）」の派遣
- ・プログラム作成のアドバイスと支援 研修会 グループディスカッション
- ・職業体験先の事業所訪問の支援と；プログラムづくり等へのJ-ディネーターによる支援
- ・「よこすかキャリア教育応援団」の増強
- ・各校プログラム等へのJ-ディネーターによる支援

■期待される成果

企業人にとっては、

- ・社員のアイデンティティの向上
- ・社員自身の職業観、勤労観の再認識
- ・社員としてのミッションの高揚
- ・自社イメージの向上と社会貢献

■横須賀市公立中学校24校（2010.4現在） 生徒総数/10413名
2年生/3469名

人口：約426千人、昼間人口：約386千人 △40千人

神奈川県下市町村別人口減少数第1位△2,483人

2025年に人口が約37万人に減少することが予想されている（横須賀市試算）

■【組織図】・・・別紙（キャリア教育通信NO.9 2009.11）



よこすかキャリア教育推進事業

横須賀市の中学生を地域連携で応援する！～中学生“自分再発見”プロジェクト～

検索

ホーム 事業の概要 事業内容 キャリア教育応援団 実施中学校 みんなの声 トピックス お問い合わせ



横須賀市の中学生を地域連携で応援する！ [中学生“自分再発見”プロジェクト]

働くってなんでしょう。

仕事ってなんでしょう。

学ぶってなんでしょう。

そんな教育の根っこになるような問いかけを大切に、横須賀のキャリア教育は職業観や勤労観を育てるために、若い企業人と中学生とのディスカッションや職業体験などを切り口に、総合学習などを活用して学びを積み上げてきています。横須賀の若い人材は、横須賀の地域力で育てよう、地域が連携して進めよう…という視点で、産業界・行政・教育界(産官学連携)が「よこすかキャリア教育推進事業」を立ち上げました。教育界と産業界が「横須賀の若い人材を横須賀の力で育てよう」と方向を定めたのです。

横須賀商工会議所がその中心を担いながら「中学生“自分再発見”プロジェクト」をスタートさせ、企業の支援を得て、MTT(マイタウンティーチャー＝わが街横須賀に働く大人はすべて先生)が誕生し、今、確かな歩みを始めました。

○ シンボルマーク



Yokosuka Career

「人と人とのつながりで笑顔が広がり地域が活性化しますように！」というみんなの思いが託されています。

桃色の種は温かい「交流」による豊かさを、黄色の種は明るい将来の「希望」を、青色の種は「安らぎ」を与えてくれる横須賀の海を表しています。

(協力：横浜デジタルアーツ専門学校)

○ トピックス

- 2010-05-14 9校に拡大して、平成22年度がスタートしました！
- 2010-04-30 “キャリア教育応援団”へのご登録をお願いします！
- 2010-03-19 ～無人島文化祭～in猿島 ミッションは『絆と友情』

[過去のトピックス](#)▶